

参考データ集

国際石油開発帝石株式会社

2017年(平成29年)11月9日

連結子会社および持分法適用関連会社

連結子会社 63社

主な連結子会社	国(地域)名	出資比率	ステージ	決算期
ジャパン石油開発	アラブ首長国連邦	100%	生産中	3月(仮決算)
JODCO Onshore Limited	アラブ首長国連邦	51%	生産中	12月
サウル石油	チモール海・共同開発地域	100%	生産中	12月
INPEX Ichthys Pty Ltd	オーストラリア	100%	開発中	3月(仮決算)
インベックス南西カスピ海石油	アゼルバイジャン	51%	生産中	3月(仮決算)
インベックス北カスピ海石油	カザフスタン	45%	生産中	3月(仮決算)
INPEX Oil & Gas Australia Pty Ltd	オーストラリア	100%	開発中	12月
INPEX Gas British Columbia Ltd.	カナダ	45.09%	生産中/評価中	12月

持分法適用関連会社 20社

主な持分法適用関連会社	国(地域)名	出資比率	ステージ	決算期
MI Berau B.V.	インドネシア	44%	生産中	12月
Angola Block 14 B.V.	アンゴラ	49.99%	生産中	12月
インベックス北カンボス沖石油	ブラジル	37.5%	生産中	12月
Ichthys LNG Pty Ltd	オーストラリア	62.245%	開発中	3月(仮決算)

セグメント情報

2018年3月期第2四半期(2017年4月1日～2017年9月30日)

(単位:百万円)

	日本	アジア・オセアニア	ユーラシア (欧州・NIS諸国)	中東・アフリカ	米州	計	調整額 (注1)	連結財務諸表計上額(注2)
売上高	50,570	93,633	35,342	262,245	6,130	447,922	-	447,922
セグメント利益又は損失(△)	12,197	25,356	8,397	149,305	△ 2,563	192,692	△ 6,865	185,827

- (注) 1 セグメント利益の調整額△6,865百万円は、セグメント間取引消去8百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△6,873百万円が含まれております。全社費用の主なものは、報告セグメントに帰属しないのれんの償却及び一般管理部門にかかる費用であります。
- 2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2

LPG売上高

	17年3月期第2四半期 (2016年4月-9月)	18年3月期第2四半期 (2017年4月-9月)	増減	増減率
売上高(億円)	36	25	△ 10	△ 29.7%
販売量(千bbl)	1,096	587	△ 509	△ 46.4%
海外生産分平均単価(\$/bbl)	31.22	38.99	7.77	24.9%
国内生産分平均単価(¥/kg)	50.24	63.84	13.60	27.1%
平均為替(¥/\$)	105.81	111.23	5円42銭円安	5.1%円安

地域別販売量(千bbl)	17年3月期第2四半期 (2016年4月-9月)	18年3月期第2四半期 (2017年4月-9月)	増減	増減率
日本	2 (0.2千ト)	2 (0.2千ト)	△ 0 (△0.0千ト)	△ 16.0%
アジア・オセアニア	1,094	585	△ 509	△ 46.5%
ユーラシア(欧州・NIS諸国)	-	-	-	-
中東・アフリカ	-	-	-	-
米州	-	-	-	-
合計	1,096	587	△ 509	△ 46.4%

3

利払い・償却・探鉱費前利益(EBIDAX)

(百万円)	17年3月期第2四半期 (2016年4月-9月)	18年3月期第2四半期 (2017年4月-9月)	増減	備考
親会社株主に帰属する純利益	15,727	30,152	14,425	P/L
非支配株主に帰属する純損益	8,986	3,664	△ 5,322	P/L
減価償却相当額	83,918	83,815	△ 103	
減価償却費	43,289	45,448	2,159	C/F コンセッション契約及び販管費に係る減価償却費
のれん償却額	3,380	3,380	-	C/F
生産物回収勘定(資本支出)の回収額	37,249	34,987	△ 2,262	C/F PS契約に係る減価償却費相当額
探鉱費相当額	3,494	△ 1,845	△ 5,339	
探鉱費	2,462	944	△ 1,518	P/L コンセッション契約に係る探鉱費
生産物回収勘定引当金戻入益	-	△ 2,789	△ 2,789	P/L PS契約に係る探鉱費相当額等
生産物回収勘定引当金繰入額	1,032	-	△ 1,032	P/L PS契約に係る探鉱費相当額等
重要な非現金項目	6,160	1,573	△ 4,587	
法人税等調整額	△ 10,755	5,133	15,888	P/L
為替差損益	16,915	△ 3,560	△ 20,475	C/F
税引後ネット支払利息	△ 1,962	△ 625	1,337	P/L 税引後の支払利息-受取利息
EBIDAX	116,325	116,734	409	

4

生産物回収勘定の増減推移

(百万円)	17年3月期第2四半期 (2016年4月-9月)	18年3月期第2四半期 (2017年4月-9月)
生産物回収勘定(期首)	727,771	659,201
増加:		
探鉱投資	5,529	1,638
開発投資	28,111	10,104
操業費	24,794	23,383
その他	2,045	3,838
減少:		
コスト回収(CAPEX)	37,249	34,987
コスト回収(Non-CAPEX)	36,280	26,354
その他	-	24,063
生産物回収勘定(期末)	714,722	612,762
生産物回収勘定引当金	133,374	100,061

5

原油価格・為替レートのセンシティブティ **INPEX**

※2017年5月12日時点

■ 油価・為替変動の2018年3月期 親会社株主に帰属する当期純利益に与える影響額(注1)

油価1ドル上昇(下落)した場合(注2)	+24億円(△24億円)
為替(円/US\$)1円 円安(円高)になった場合(注3)	+10億円(△10億円)

(注1) 原油価格(Brent)の1年間を通じた期中平均価格が1ドル上昇(下落)した場合、為替が1円円安(円高)になった場合の、2018年3月期の当期純利益に対する影響額を、当年度期初時点における財務状況を基に試算したものであり、あくまでも参考値であること、また影響額は、生産量、投資額、コスト回収額などの変動により変わる可能性があり、加えて油価及び為替の水準により、常に同じ影響額になるとは限らない点にご留意ください。

(注2) 油価変動が当期純利益に与える影響であり、原油価格(Brent)の1年間を通じた期中平均価格の影響を受けます。

(注3) 為替変動が当期純利益に与える影響であり、期中平均為替レートの影響を受けます。尚、外貨建て資産と外貨建て負債の差から発生する為替評価損益に係るセンシティブティ(前期末と当期末の期末為替レートの差の影響を受ける)は、ほぼ中立化しております。

6

2018年3月期 販売量・投資額(予想) **INPEX**

2018年3月期予想		5月12日時点	11月8日時点	増減	【参考】 第2四半期累計実績
販売量	原油 (千バレル) ¹	119,393	115,518	△3,875	57,530
	天然ガス (百万cf) ²	266,609	257,390	△9,219	151,351
	うち海外分	187,643	179,508	△8,134	117,346
	うち国内分	78,967 (2,116百万m ³)	77,881 (2,087百万m ³)	△1,085 (△29百万m ³)	34,005 (911百万m ³)
	LPG (千バレル) ³	257	762	505	587

開発投資額 ⁴ (億円)	6,060	5,850	△210	2,928
その他設備投資額 (億円)	10	10	-	9
探鉱投資額 (億円)	80	80	-	23
探鉱費および 探鉱関連引当額 ⁵ (億円)	探鉱費 45 探鉱関連引当額 42 87	探鉱費 32 探鉱関連引当額 39 71	△15	探鉱費 9 探鉱関連引当額 8 17
うち非支配株主持分負担額 ⁶ (億円)	29	24	△5	0

注) 1 国内原油および石油製品販売量の換算係数として1kl=6.29bblを使用

2 国内天然ガス販売量の換算係数として1m³=37.32cfを使用

3 国内LPG販売量の換算係数として1トン=10.5bblを使用

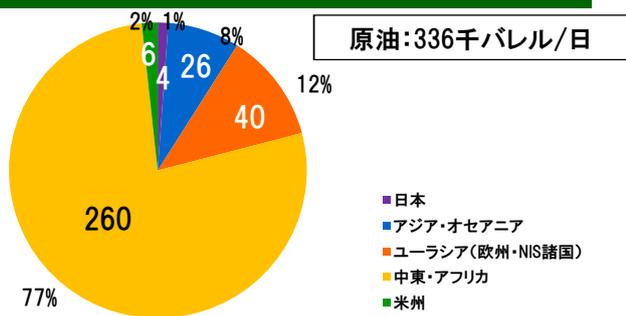
4 開発投資額にはイクス下流事業を含む

5 損益計算書の生産物回収勘定引当金繰入額+探鉱事業引当金繰入額のうち探鉱関連分

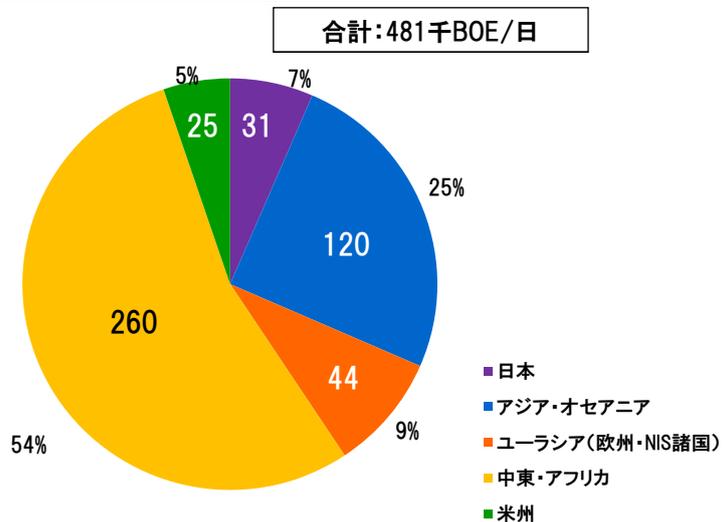
6 非支配株主による増資見合い分等

7

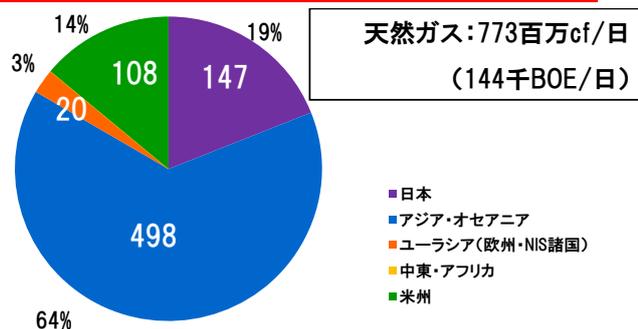
原油・コンデンセート・LPG



原油・天然ガス合計

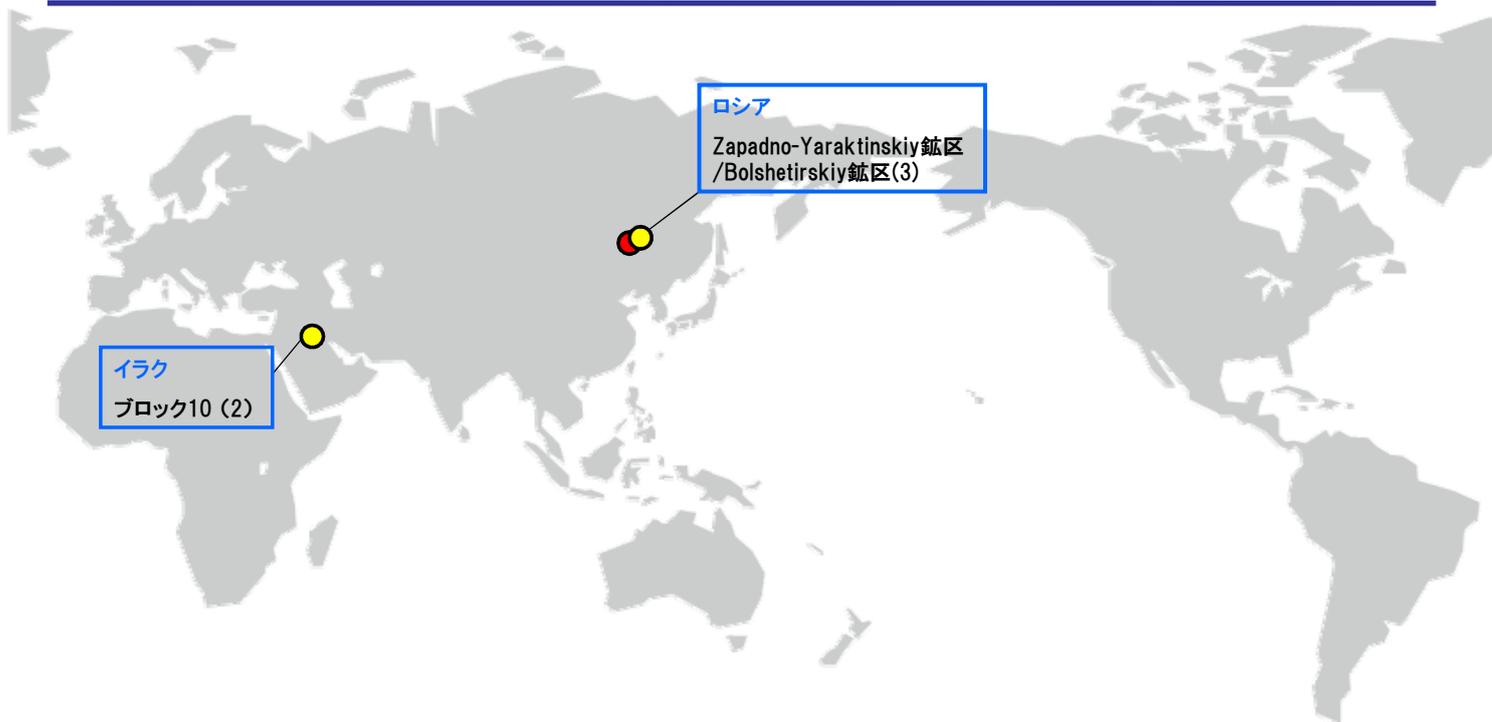


天然ガス



プロジェクト参考データ

探鉱実績(2017年9月末時点)*



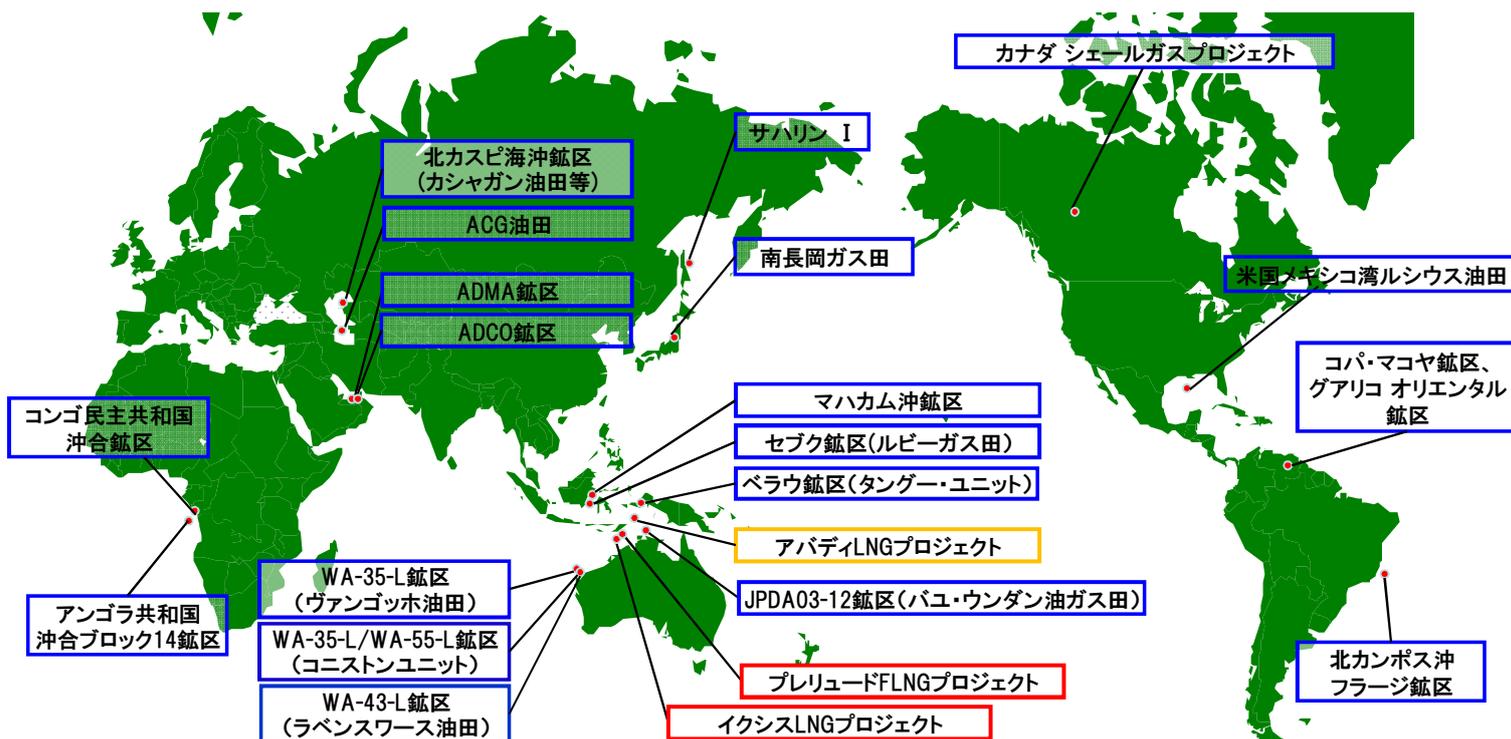
* ()内の数字は掘削坑井数

- 試掘井
- 探掘井

	探鉱投資額 (億円)	試掘井 (坑)	探掘井 (坑)	2D震探 (km)	3D震探 (km ²)
2018年3月期(計画)	80	1	8	342	0
うち作業中・作業済	23	1	4	0	0

10

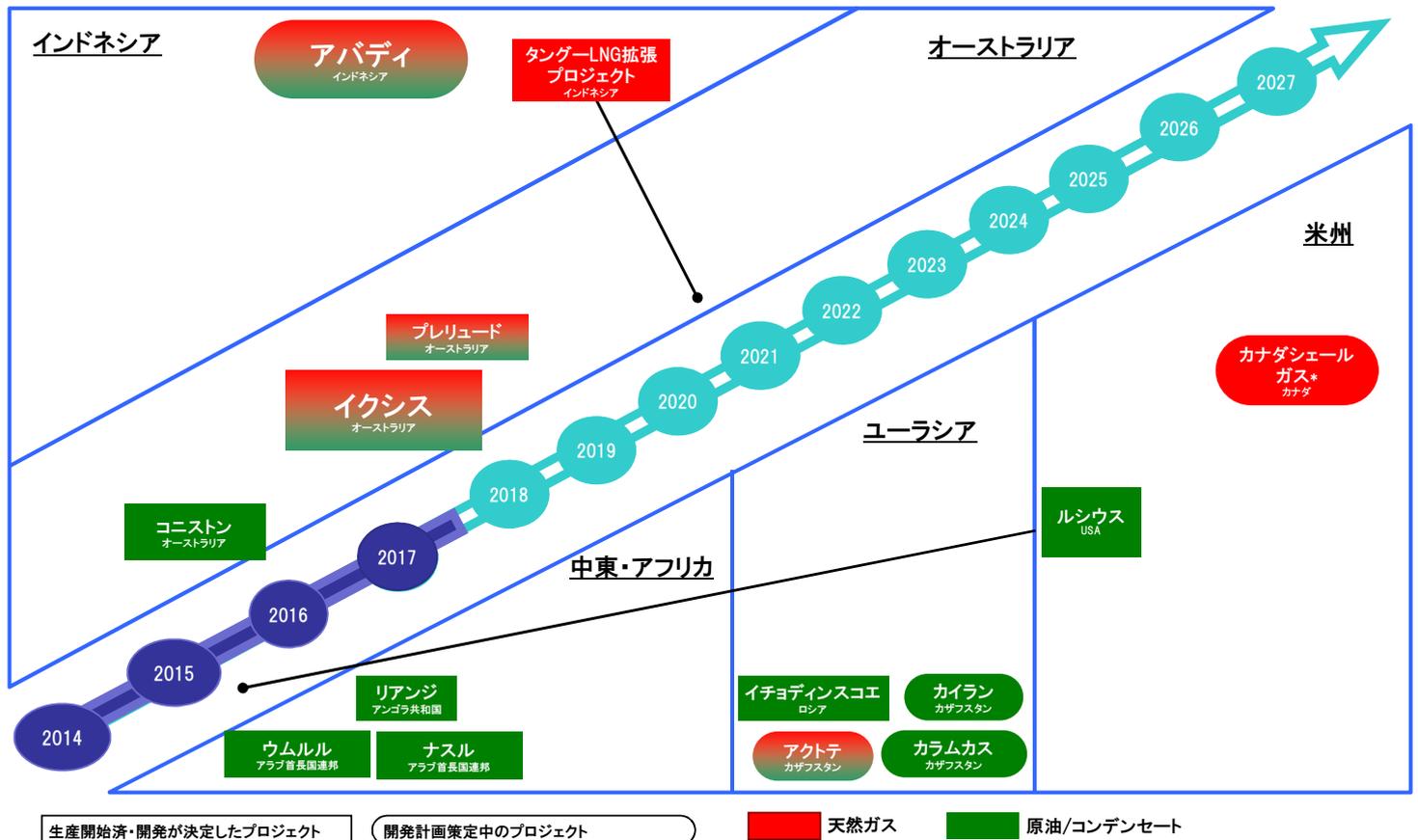
主な生産・開発プロジェクト



 生産中
 開発中
 開発準備作業中

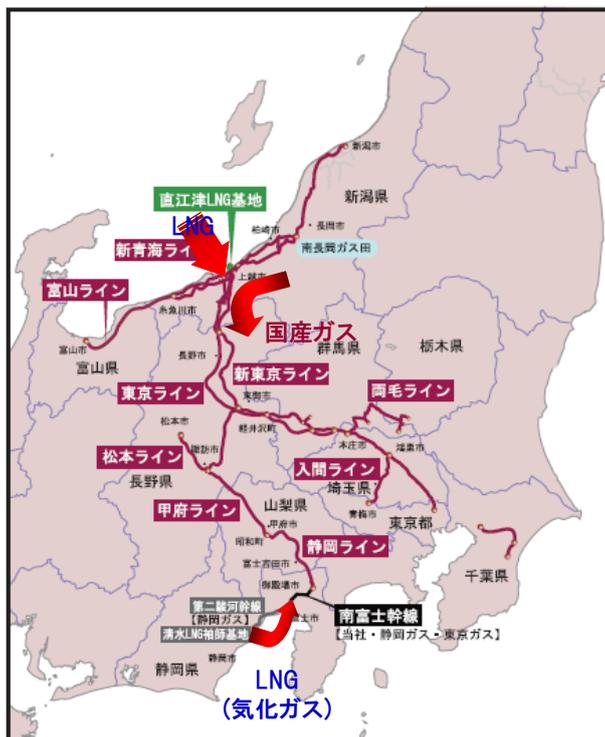
11

生産開始スケジュール



12 * 一部生産中

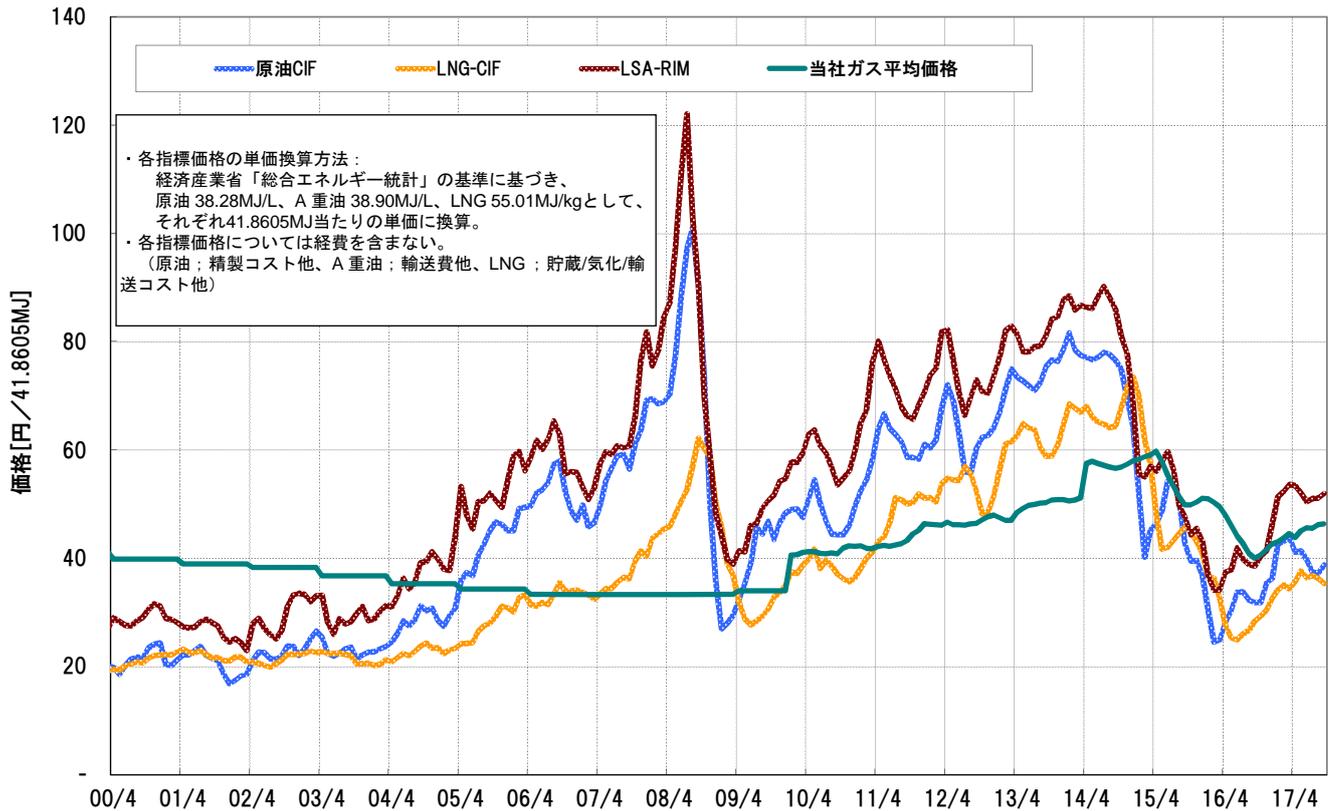
国内天然ガス事業



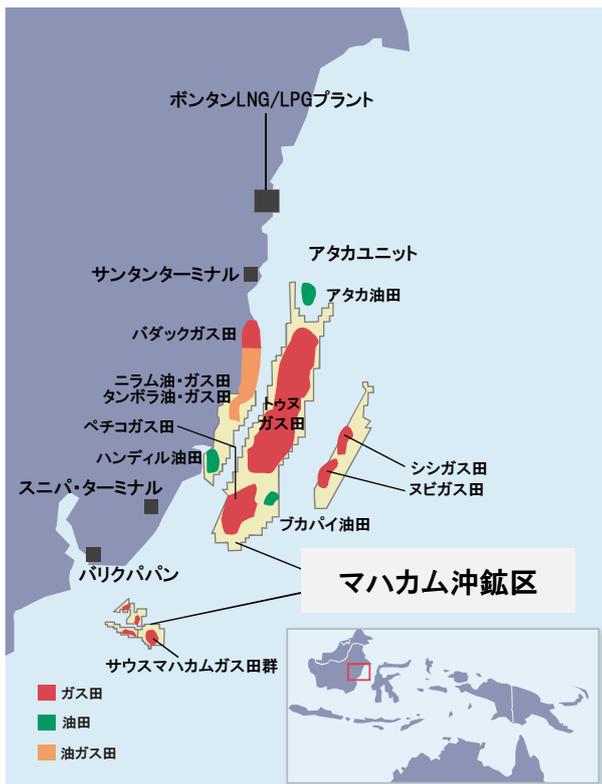
- 生産量*
 - ・天然ガス：約3.9百万m³/日 (147百万立方フィート/日)**
 - ・原油・コンデンセート：約4千バレル/日
- 天然ガス販売状況
 - ・2017年3月期販売量：19.1億m³**
 - ・2018年3月期販売量見通し：20.9億m³**
 - ・2020年代前半に25億m³、長期的に年間30億m³の供給見通し
- ガスサプライチェーンの構築
 - ・2013年12月、直江津LNG基地の商業運転開始
 - ・2016年6月、富山ライン完成

* 国内油田・ガス田の合計(2017年4月～9月平均日産量)
 ** 1m³当たり41.8605MJ換算

単位あたりの価格の比較



マハカム沖鉱区 国際石油開発帝石



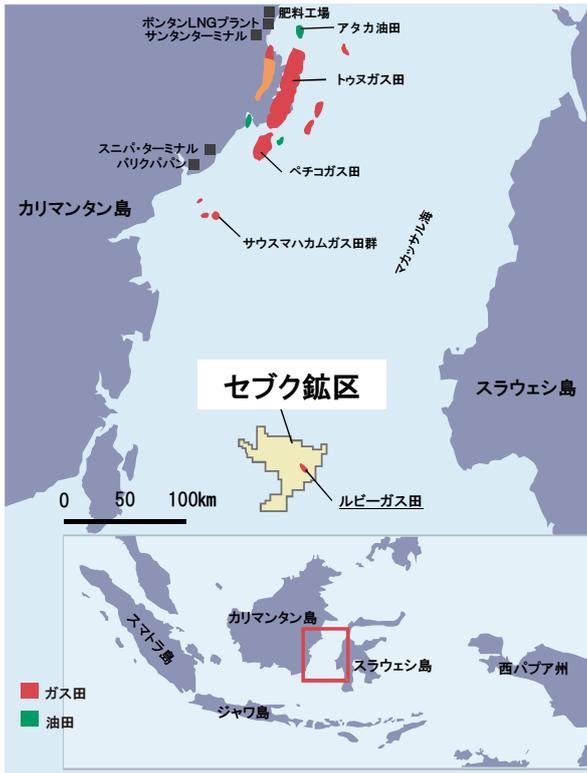
- 当社権益比率: 50%
(オペレーター: TOTAL)
- 生産量*
 - ・原油・コンデンセート: 日量約5.1万バレル
 - ・LPG: 日量約0.9万バレル
 - ・天然ガス**: 日量約1,244百万立方フィート
- PS契約: 2017年末まで
- ボンタンLNG基地へのガス安定供給を目的として主力ガス田であるトゥヌ/ペチコ/シシ/ヌビ/サウスマハカムガス田を中心とした段階的開発作業を継続
- 2012年4月、西ジャワ洋上LNG受入基地へLNG供給開始
- 2012年10月末、サウスマハカムガス田より生産開始
- 2017年3月、操業移管に関する諸契約を締結
- 現行PS契約は2017年末で終結。2018年以降の新PS契約への参画に向けて、TOTALと共にインドネシア政府およびPertaminaと協議中

* 全鉱区ベース、2017年9月平均日産量

**井戸元の生産量ではなく買主への販売に対応した数量

セブク鉱区(ルビーガス田) インペックス南マカッサル石油

INPEX



- 当社権益比率: 15%
(オペレーター: PEARLOIL (Mubadala))
- 生産量*
天然ガス**: 日量約2百万立方フィート
- PS契約: 2027年まで
- 2010年9月、オペレーターであるPEARLOILと締結した権益譲渡契約のインドネシア政府承認を取得(当社15%権益取得)
- 2011年6月、開発移行決定
- 海上生産施設よりマハカム沖鉱区既存陸上施設へ海底パイプラインにより繋ぎ込み
- 生産ガスの大部分をインドネシア国内肥料工場向けに供給
- 2013年10月、生産開始

* 全鉱区ベース、2017年9月平均日産量

**井戸元の生産量ではなく買主への販売に対応した数量

16

ベラウ鉱区(タンゲーLNGプロジェクト) MI Berau B.V./MIベラウジャパン

INPEX



- MI Berau/MIベラウジャパン*:
三菱商事とのJV(当社44%、三菱商事56%)
*MIベラウジャパンはケージーベラウ石油開発に約16.5%出資
- 権益比率:
・MI Berau: タンゲー・ユニット 16.3%
・ケージーベラウ石油開発: タンゲー・ユニット 8.56%
(オペレーター: BP)
- 生産量*
・コンデンセート: 日量約5千バレル
・天然ガス**: 日量約841百万立方フィート
- PS契約: 2035年まで
- LNG生産量: 年間760万トン
- 2009年7月、LNG販売開始
- 2016年7月、拡張プロジェクト(年間380万トンの生産能力を有する第三液化系列を増設)の最終投資決定

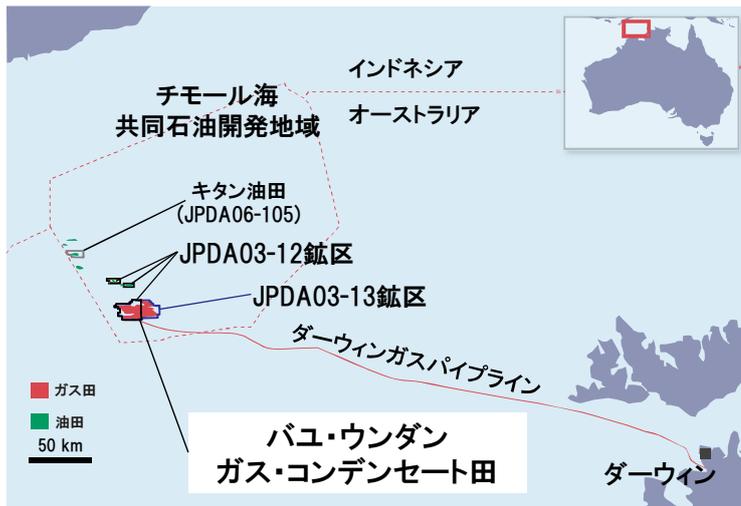
* 全鉱区ベース、2017年9月平均日産量

**井戸元の生産量ではなく買主への販売に対応した数量

17

バユ・ウンダン ガス・コンデンセート田(JPDA03-12/03-13鉱区) サウル石油

INPEX



- 当社権益比率: 11.378120%
(オペレーター: ConocoPhillips)
- 生産量*
 - ・ コンデンセート: 日量約1.4万バレル
 - ・ LPG: 日量約0.9万バレル
 - ・ 天然ガス**: 日量約354百万立方
フィート
- PS契約: 2022年まで
- 2004年2月、コンデンセート/LPG販売開始
- 2005年8月、東京電力(現JERA)/東京
ガスとLNG販売契約締結(2006年から17
年間、年間300万トン)
- 2006年2月、LNG販売開始

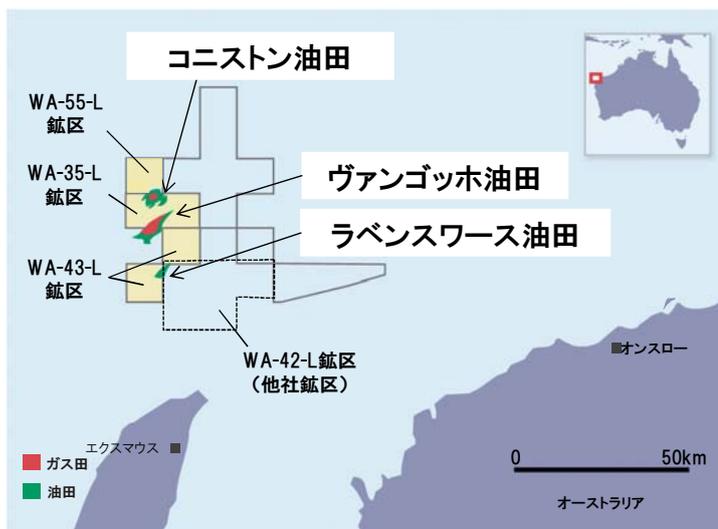
* 全鉱区ベース、2017年9月平均日産量

**井戸元の生産量ではなく買主への販売に対応した数量

18

ヴァンゴッホ油田/コニストン油田及びラベンスワース油田 アルファ石油

INPEX



ヴァンゴッホ油田(WA-35-L)/コニストン油田 (WA-35-LおよびWA-55-L鉱区)

- 当社権益比率: 47.499%
(オペレーター: Quadrant Energy)
- 利権契約: 生産終了まで
- 生産量*: 原油: 日量約7千バレル
- 2010年2月、ヴァンゴッホ油田にて原油生産
開始
- 2015年5月、コニストン油田にて原油生産開
始
- 2016年7月、コニストン油田ノバラ構造にて原
油生産開始

ラベンスワース油田(WA-43-L鉱区)

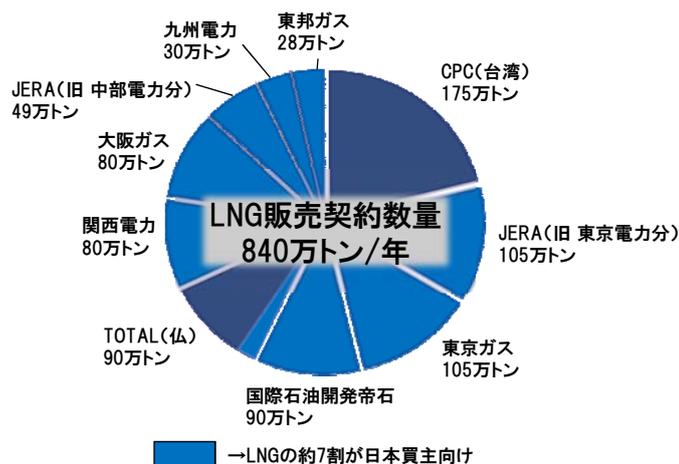
- 当社権益比率: 28.5%
(オペレーター: BHPBP)
- 生産量*: 原油: 日量約6千バレル
- 利権契約: 生産終了まで
- 隣接するWA-42-L鉱区の生産施設への繋
ぎ込みによる開発
- 2010年8月、生産開始

* 全鉱区ベース、2017年9月平均日産量

19

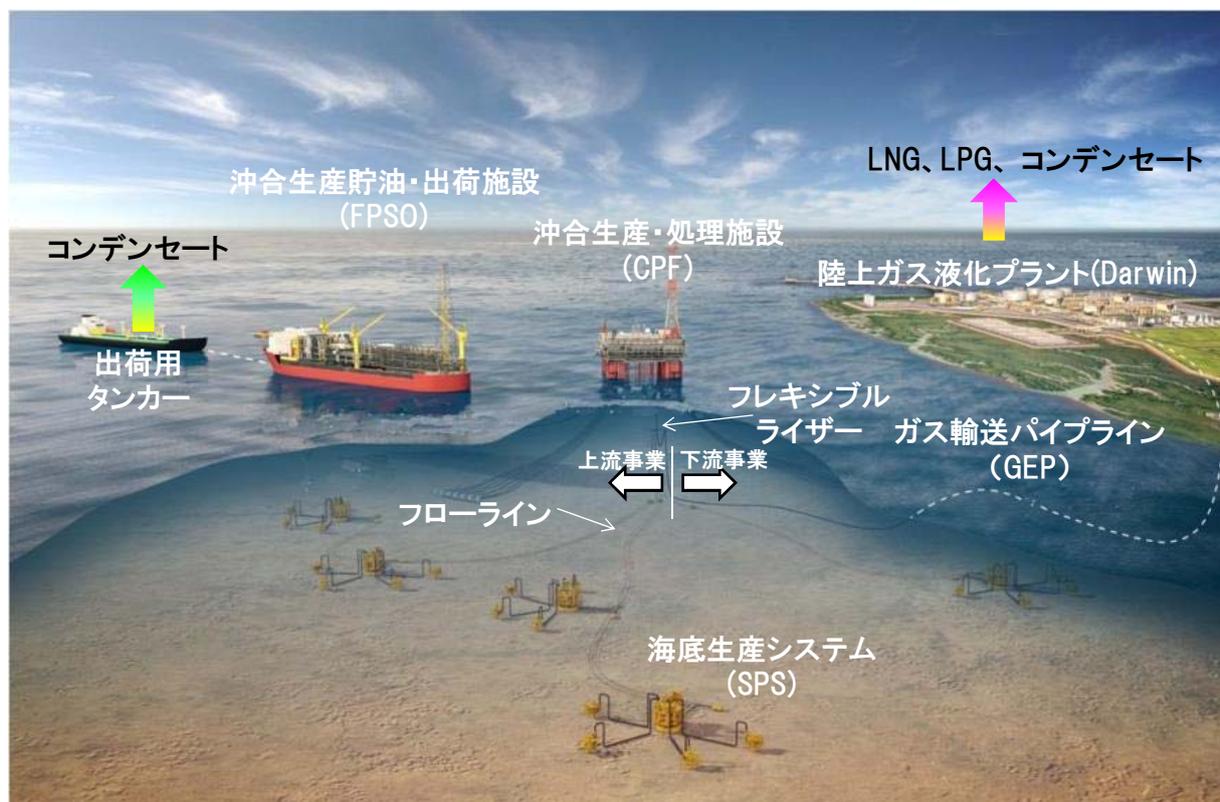
イクシスLNGプロジェクト 概要

- マーケティング:
 - ✓ LNG: 年産840万トン分売買契約締結済
 - ✓ LPG: 当社権益全量等の売買契約締結済
- 主要許認可:
 - ✓ 環境、ガス輸送パイプラインのライセンス、生産ライセンス等全て取得済
- ファイナンス:
 - ✓ 2012年12月、総額200億米ドルのプロジェクトファイナンスに係る融資関連契約に調印
- 開発作業: 主要EPC契約締結済



- 上流事業
 - 沖合生産・処理施設(CPF) : Samsung Heavy Industries(韓)
 - 沖合生産貯油・出荷施設(FPSO) : Daewoo Shipbuilding & Marine Engineering (韓)
 - 海底生産システム(SPS) : GE Oil & Gas(米)
 - フローライン、フレキシブルライザーなどの接続作業等 : McDermott(米)
- 下流事業
 - 陸上LNGプラント: 日揮、千代田化工、KBR社(米)の企業連合
 - ガス輸送パイプライン(GEP) : Saipem(伊)・三井物産・住友商事・メタルワン
 - ダーウィン湾内浚渫作業: Van Oord(蘭)
 - 計装・制御システム: 横河電機(上流施設も含む)

イクシスLNGプロジェクト 開発コンセプト



イクシスLNGプロジェクト 沖合施設の進捗①

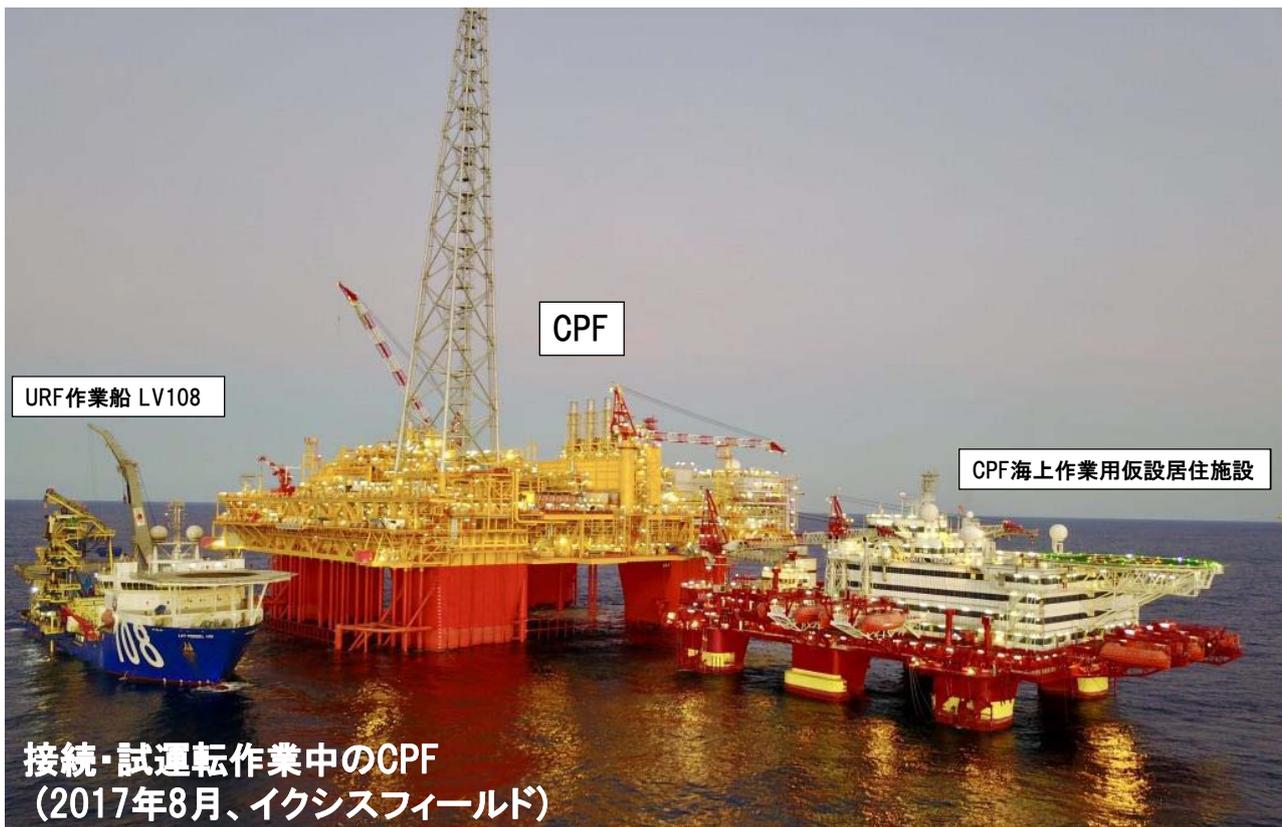
INPEX



22

イクシスLNGプロジェクト 沖合施設の進捗②

INPEX



23

イクシスLNGプロジェクト 陸上施設の進捗①

INPEX



ガス受入れ施設
(2017年8月、ダーウィン)

イクシスLNGプロジェクト 陸上施設の進捗②

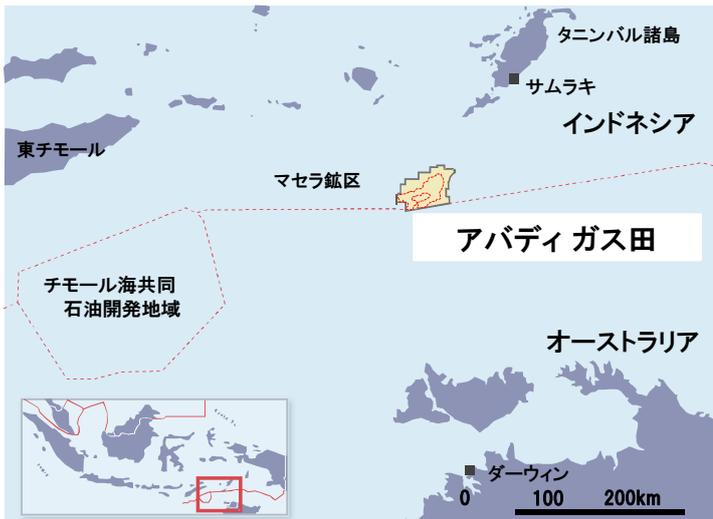
INPEX



操業管理施設
(2017年8月、ダーウィン)

アバディLNGプロジェクト

INPEX



- 2016年4月、インドネシア政府当局より陸上LNGによる開発計画の再検討を求める内容の通知を受領
- インドネシア政府とのこれまでの建設的な協議結果を踏まえ、陸上方式を前提としたPre-FEED(概念設計)に係る準備作業を実施中
- 2017年6月にインドネシア政府からNational Strategic Projectに、更に9月にはPriority Infrastructure Projectに認定
- Shellとの戦略的パートナーリング
 - Shellによる技術・人的支援の有効活用
- 生産分与契約に基づき10%の参加権益をインドネシア政府の指定するインドネシア企業に譲渡する予定
- PS契約: 2028年まで

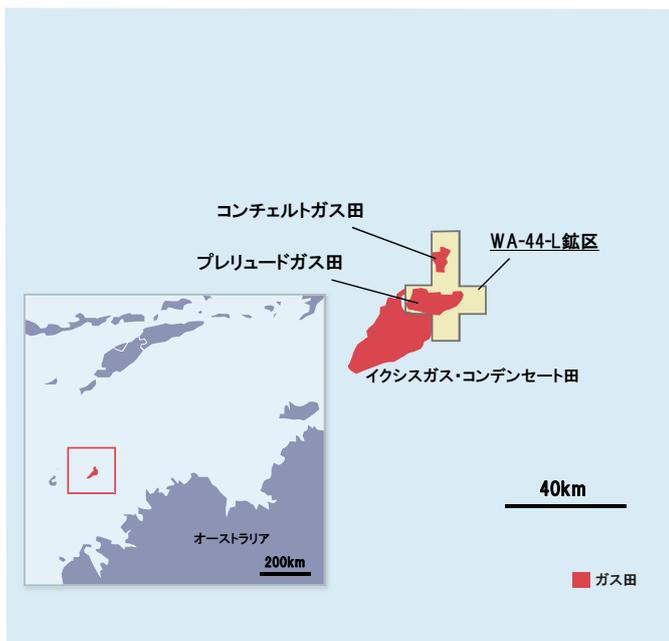
■ 権益比率
-当社(オペレーター)65%、Shell35%

■ 開発準備中

プレリウドFLNGプロジェクト

INPEX Oil & Gas Australia Pty Ltd

INPEX

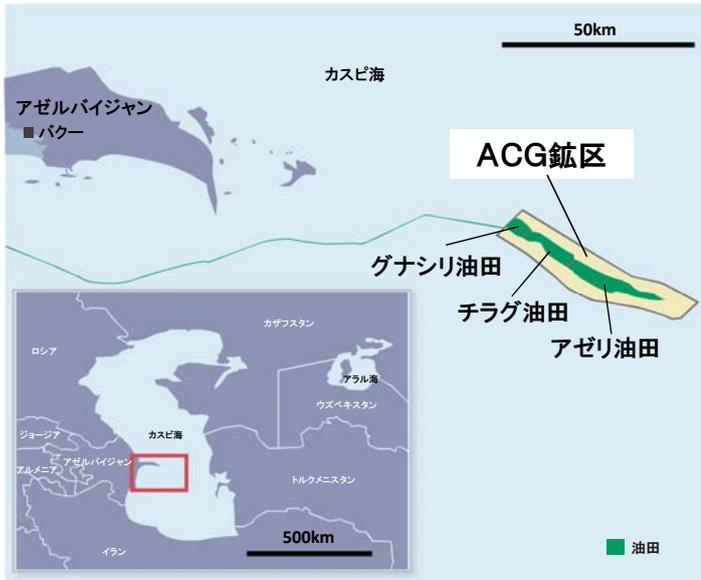


- 権益比率: 17.5%(オペレーター: Shell)
- 埋蔵量: 天然ガス約3兆cf (プレリウドガス田およびコンチェルトガス田)
- 生産量:
 - ・LNG 年間360万トン
 - ・LPG 年間約40万トン
 - ・コンデンセート 日量約3.6万バレル(ピーク時)
- 2011年5月に最終投資決定
- 2017年6月、FLNG船が建設ヤードの韓国ゴジェから出航し、7月に現場海域へ到着
- 係留作業が完了し、試運転を実施中
- 当社権益相当分年間約63万トンのLNGの売買(2017年から8年間)について、JERA(年間約56万トン)、静岡ガス(年間約7万トン)それぞれと合意



ACG油田 インペックス南西カスピ海石油

INPEX



- 当社権益比率：10.9644% *
(オペレーター:BP)
- 生産量：日量約58.5万バレル**
- PS契約：2024年まで***
- チラグ油田：1997年生産開始
- アゼリ油田中央部：2005年2月生産開始
- アゼリ油田西部：2005年12月生産開始
- アゼリ油田東部：2006年10月生産開始
- グナシリ油田深海部：2008年4月生産開始
- チラグ油田西部：2014年1月生産開始

* PS契約改定に伴い、当社権益比率は9.3072%へ変更予定。
改定PSAは2018年1月1日発効見込み。

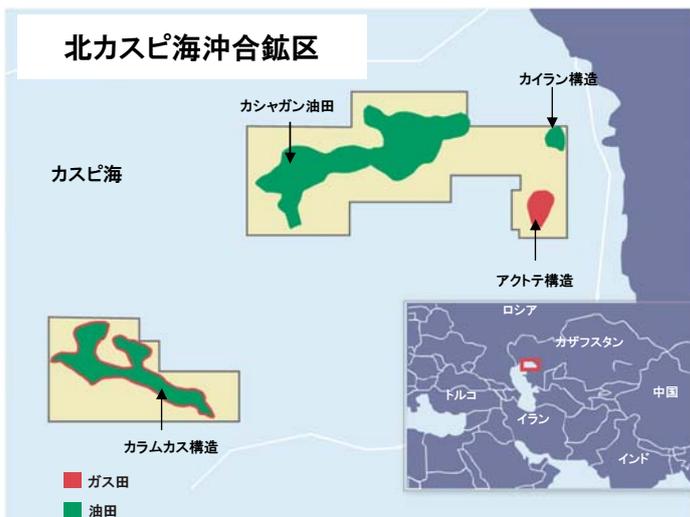
** 全鉱区ベース、2017年1月～6月平均日産量

*** PS契約改定に伴い、2049年末まで延長予定。

28

カシャガン油田ほか インペックス北カスピ海石油

INPEX



- 当社権益比率: 7.56%(オペレーター:
NCOC(North Caspian Operating Company))
- PS契約: カシャガン油田 - 2021年末まで*
- 原油生産量*: 日量約19.9万バレル。
- 早期に生産量日量37万バレルまでの引き上げ
を目指している。
- 2013年9月の生産開始後に起こったパイプライン
からのガスリークにより、同年10月より生産を
停止。復旧作業を完了し、2016年9月に生産を
再開、同年10月に原油出荷を開始
- カラムカス構造は隣接鉱区との共同開発の可
能性を検討中
- アクトテ/カイルンの2構造の評価作業を実施中

* 全鉱区ベース、2017年9月平均日産量

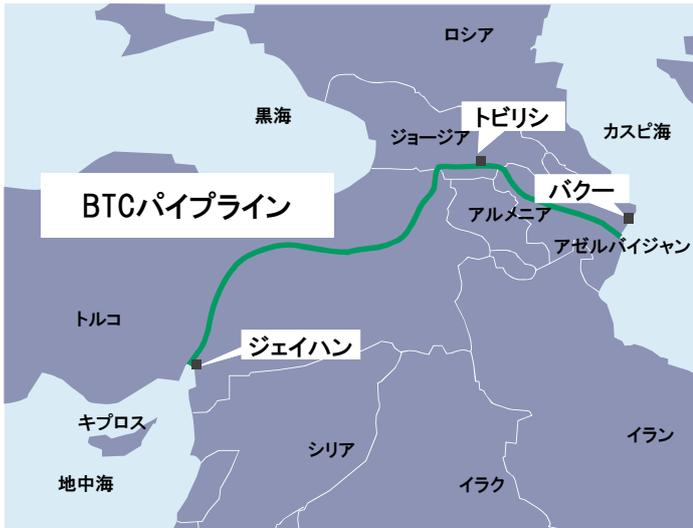
*現行のPSA条件にて10年×2回の延長(2041年まで)が可能

29

BTC(BakuTbilisiCeyhan)パイプラインプロジェクト

INPEX BTC Pipeline, Ltd.

INPEX



- 当社権益比率：2.5%(オペレーター:BP)
- 通油量：日量約68万バレル*
- 2002年10月、当社、参加権益2.5%取得
- 2006年6月、ジェイハンターミナルから原油出荷開始
- 2009年3月、輸送能力日量120万バレルまでの拡張作業を完了
- 2010年9月13日、累計10億バレル出荷を達成
- 2014年8月11日、累計20億バレル出荷を達成

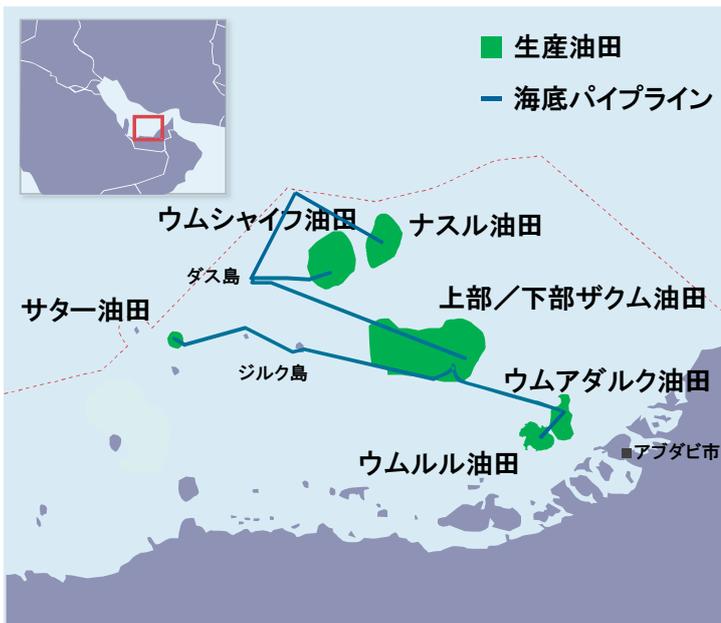
* 2017年1月～6月平均通油量

30

ADMA鉦区

ジャパン石油開発(JODCO)

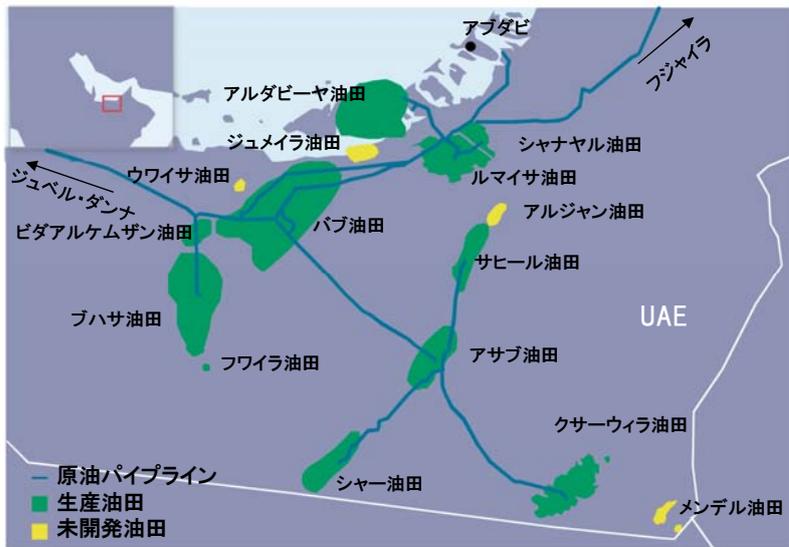
INPEX



- ウムシャイフ/下部ザクム/ウムルル/ナスル油田
 - ・ 当社権益比率: 12.0%(オペレーター: ADMA-OPCO*)
 - 上部ザクム/ウムアダルク/サター油田
 - ・ 当社権益比率: 上部ザクム/ウムアダルク 12.0% サター 40.0%(オペレーター:ZADCO*)
- *権益保有者が株主である操業会社。JODCOから両社へそれぞれ12%を出資。
- 利権契約: 2018年3月8日まで(但し、上部ザクム油田は2041年まで)
 - 生産量維持・拡大のため開発作業を継続中
 - ・ ウムルル油田・ナスル油田の全体開発計画に基づく作業実施中
 - ・ 上部ザクム油田の人工島を利用した再開発計画に基づく作業実施中

(本頁の内容は2017年9月末時点)

31

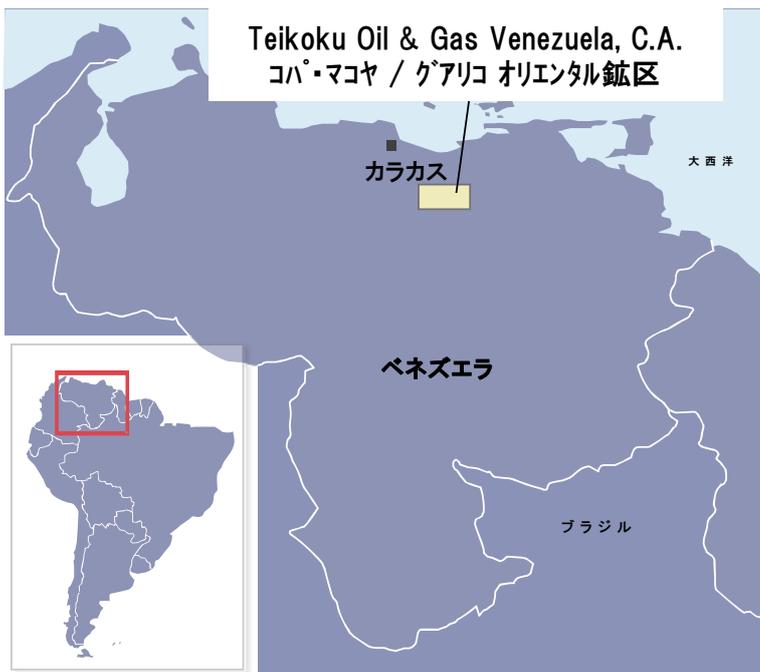


- 当社権益比率:5%
(オペレーター:ADCO*)
 - 生産量
 - ・ 原油: 日量約160万バレル
 - 利権契約:2054年まで
 - 2015年4月、アブダビ首長国政府及びADNOCと利権契約を締結し、権益取得
 - 生産量を日量約180万バレルに引き上げるべく開発作業を実施中
- *権益保有者が株主である操業会社。JODCO Onshore Limitedから5%を出資。

(本頁の内容は2017年9月末時点)

ベネズエラ プロジェクト

Teikoku Oil & Gas Venezuela, C.A.ほか



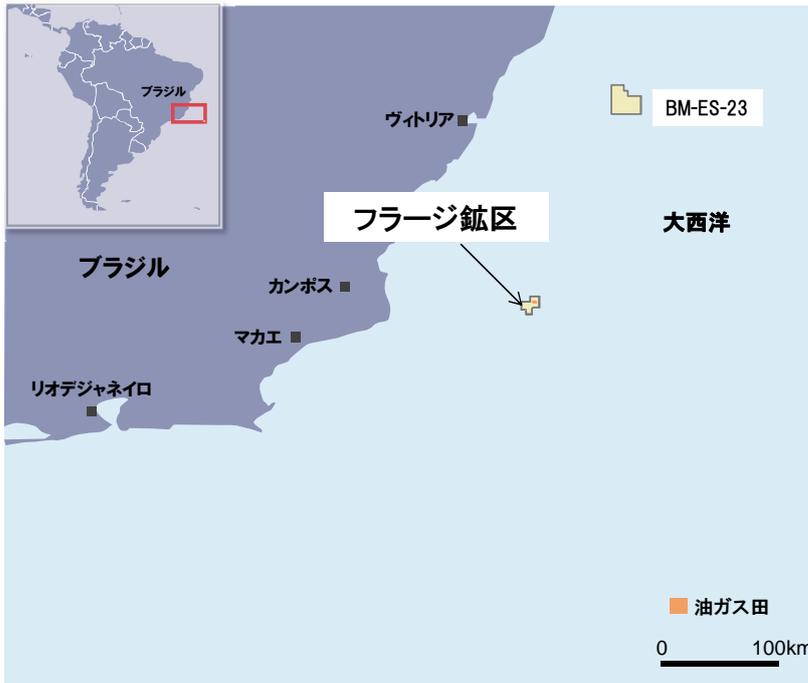
- コパ・マコヤ (ガス事業)/
グアリコ オリエンタル鉦区(原油事業)
- ジョイントベンチャー出資比率
 - ・ ガス事業:70%、原油事業:30%
- ジョイントベンチャー契約
 - ・ 2006-2026年
- 生産量*
 - ・ 原油: 日量約1千バレル
 - ・ 天然ガス**: 日量約80百万立方フィート

* 全鉦区ベース、2017年9月平均日産量

**井戸元の生産量ではなく買主への販売に対応した数量

ブラジル プロジェクト フラージ鉱区ほか

INPEX



フラージ鉱区(Frade Japã o Petr ó leo Limitada (FJPL))

- 権益比率: FJPL*18.3% (オペレーター: Chevron)

*持分法適用関連会社(当社はFJPLの37.5%の株式を保有)

- 生産量**:

- 原油: 日量約1.8万バレル
- 天然ガス***: 日量約1百万立方フィート

- コンセッション契約: 2025年まで(2041年までの延長可能)

BM-ES-23鉱区

- 当社権益比率:15%(オペレーター: Petrobras)

- コンセッション契約: 2020年まで

- 探鉱(評価)作業中

** 全鉱区ベース、2017年9月平均日産量

*** 井戸元の生産量ではなく買主への販売に対応した数量

34

カナダ シェールガスプロジェクト

INPEX Gas British Columbia Ltd.

INPEX



- 権益比率:40%* (オペレーター:Nexen)

* INPEX Gas British Columbia Ltd. (出資比率:当社45.09%、JOGMEC44.89%、日揮(株)のカナダ法人子会社 10.02%)の権益比率。

- 生産量**

- 天然ガス***:日量約71百万立方フィート

- コンセッション契約



フラクチャリング作業現場

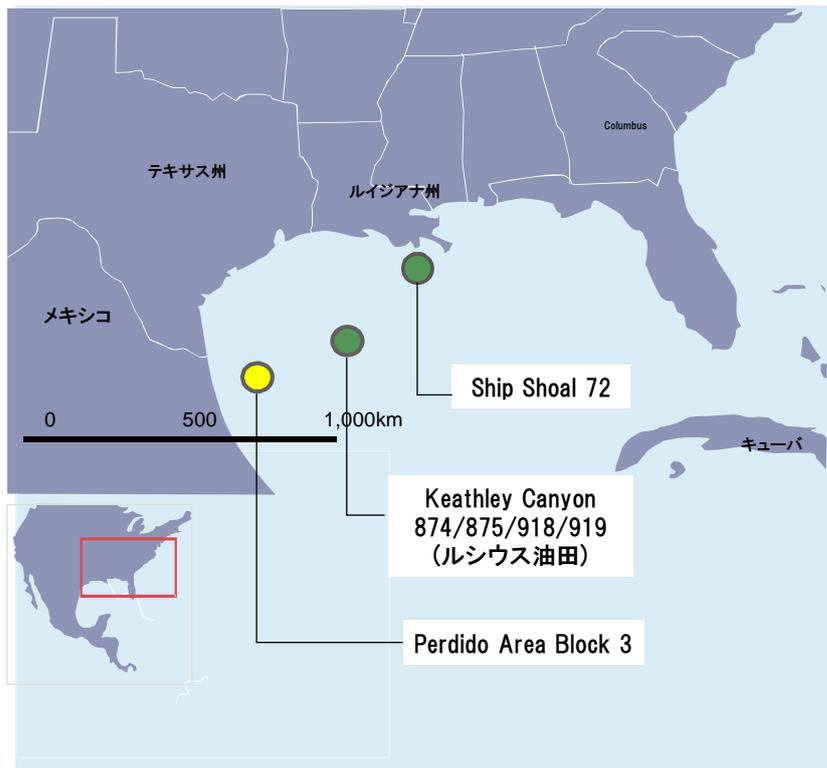
** 全鉱区ベース、2017年1月~6月平均日産量

*** 井戸元の生産量ではなく買主への販売に対応した数量

35

メキシコ湾周辺 プロジェクト

Teikoku Oil (North America) Co., Ltd. / INPEX E&P Mexico, S.A. de C.V. **INPEX**



浅海海域鉦区

(Teikoku Oil (North America) Co., Ltd.)

- コンセッション契約
- 当社権益比率
 - ・ Ship Shoal 72 : 25%

ルシウス油田

(Teikoku Oil (North America) Co., Ltd.)

- コンセッション契約
- 当社権益比率: 7.75309% (オペレーター: Anadarko)
- 2015年1月 原油及び天然ガスの生産開始
- 2017年9月に、ルシウス油田とルシウス油田の南側に位置するハドリアンノース油田のプロジェクトパートナーはユニタイゼーションに係る改定UPA (Unit Participating Agreement)を締結
- 生産量*
 - ・ 原油: 日量約5.4万バレル
 - ・ 天然ガス**: 日量約52百万立方フィート

メキシコ領メキシコ湾北部海域 Block3鉦区

(INPEX E&P Mexico, S.A. de C.V.)

- ライセンス契約
- 当社権益比率: 33.3333% (オペレーター: Chevron)
- 2017年2月28日にライセンス契約へ調印、現在探鉦作業中

*全鉦区ベース、2017年9月平均日産量

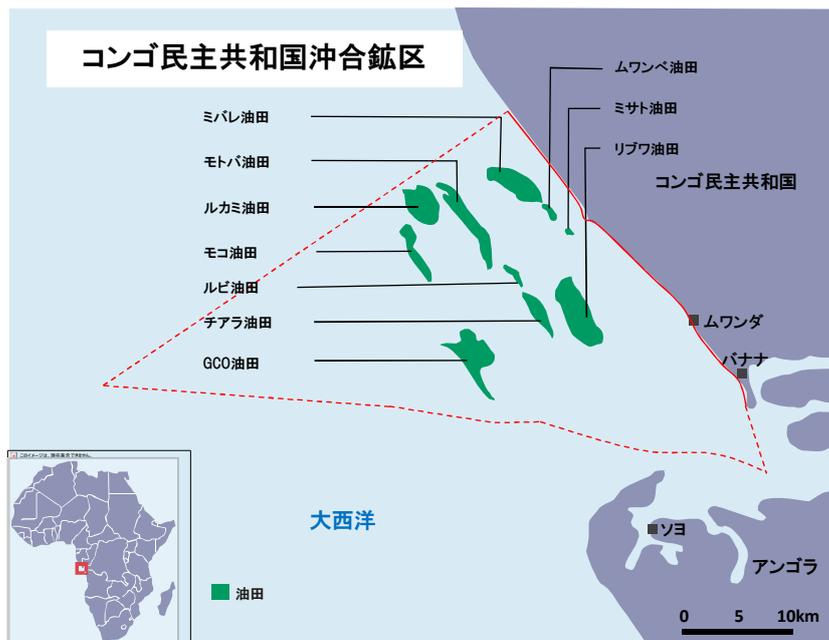
** 井戸元の生産量ではなく買主への販売に対応した数量

36

コンゴ民主共和国沖合鉦区

帝石コンゴ石油

INPEX



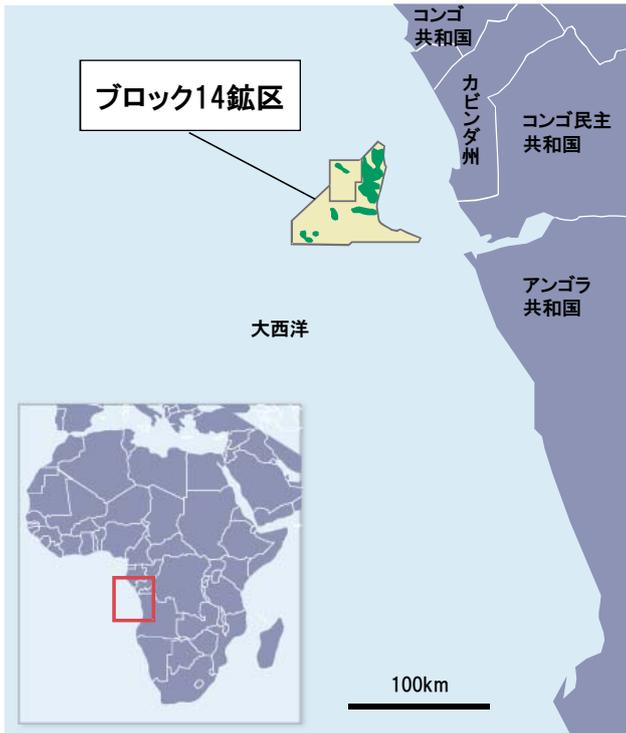
- 当社権益比率: 32.28% (オペレーター: ペレンコ)
- コンセッション契約(1969-2023年)
- 生産開始: 1975年
- 生産量*: 日量約1.1万バレル

* 全鉦区ベース、2017年9月平均日産量

37

アンゴラ共和国沖合ブロック14鉱区 INPEX Angola Block14 Ltd.

INPEX



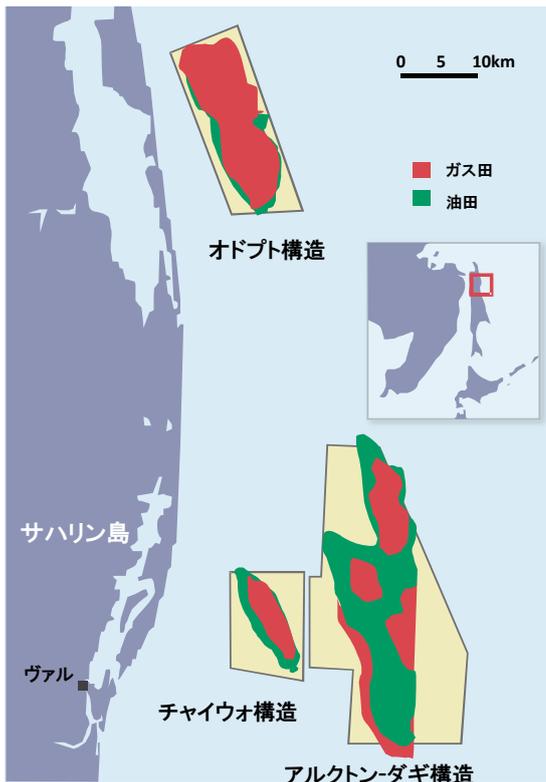
- 当社権益比率:9.99%(オペレーター: Chevron)
- 生産量*: 日量約8.4万バレル
- PS契約: 2035年まで

* 全鉱区ベース、2017年9月平均日産量

38

サハリン I サハリン石油ガス開発

INPEX



- サハリン石油ガス開発(SODECO):当社保有株式約6.08%
- SODECOのサハリン I における権益比率: 30.0%
- 生産量*
 - ・原油・コンデンセート 日量約19.2万バレル
 - ・天然ガス 日量約6.9億立方フィート
- オペレーター: ExxonMobil
- PS契約: 2021年12月まで**
- 2005年10月、チャイウォ構造より生産開始、2006年10月原油輸出開始
- 2010年9月、オドプト構造より生産開始
- 2015年1月、アルクトン・ダギ構造より生産開始
- 天然ガスをロシア国内に供給中

* 全鉱区ベース、2017年4月～9月の平均日産量

** コンソーシアムは開発期間の10年延長を複数回申請する権利あり

39

東シベリアINKプロジェクト

日本南サハ石油

INPEX



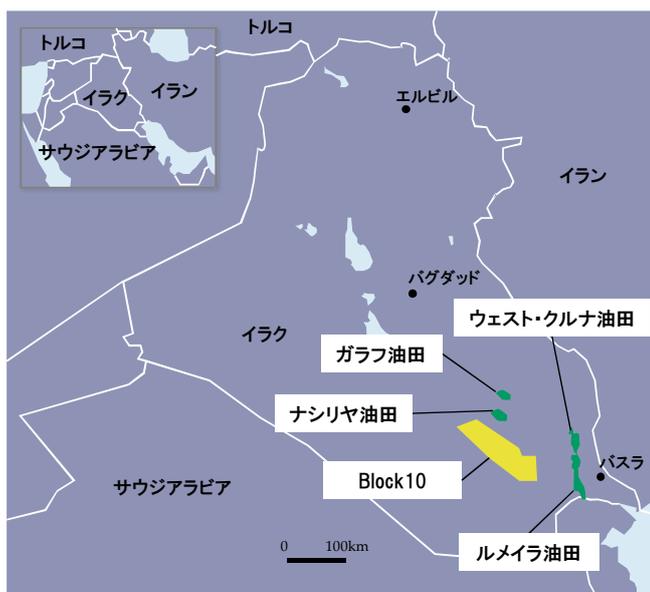
- 日本南サハ石油(JASSOC):当社保有株式約17%
- JASSOCの東シベリアINKプロジェクト(INK ZAPAD社への出資)における株式保有: 49.0%
- 生産量*:原油日量約4万バレル
- オペレーター: INK ZAPAD社
- ライセンス契約: 25年間(2031年まで)
- 2014年11月、イチョディンスコエ油田より生産開始

* 全鉱区ベース、2017年9月平均日産量

イラク Block 10

インペックス南イラク石油

INPEX



イラクBlock10ロケーション

- 当社権益比率:40%
(オペレーター:ルクオイル)
- 鉱区取得:2012年12月
(イラク共和国第4次公開入札)
- EDPSC*: 探鉱期間 - 5年間**
(2017年12月3日まで)
開発生産期間 - 20年間
- 2017年2月:試掘第1号井において実施した生産テストで日量8,000バレル以上の原油の生産を確認。

*探鉱、開発、生産サービス契約

**現行契約においては、探鉱期間は2年間の延長を2回、
開発・生産期間は5年間の延長が可能。

ノルウェー バレンツ海西部PL767鉦区 INPEX Norge AS

INPEX



- 当社権益比率:40%
(オペレーター:Lundin Norway AS)
- 鉦区取得:2017年11月予定
- コンセッション契約:探鉦・評価期間7年間
(2023年まで(延長可))
開發生産期間25年間
- 2017年9月:ノルウェー領バレンツ海西部に位置する探鉦鉦区PL767の権益40%を、Bayerngas Norge AS社から取得のため売買契約に調印

42

主要会社一覧及び石油契約①*

INPEX

会社名	鉦区名又はプロジェクト名	国名	石油契約	出資比率	ステージ
日本					
・国際石油開発帝石	南長岡ガス田ほか**	日本	コンセッション	-	生産中
アジア/オセアニア					
・国際石油開発帝石	マハカム沖鉦区	インドネシア	PS	-	生産中
・インペックス南マカッサル石油	セブク鉦区(ルビーガス田)	インドネシア	PS	100%	生産中
・MI Berau B.V.	ベラウ鉦区(タンゲーLNG)	インドネシア	PS	44%	生産中
・インペックスマセラアラフラ海石油	マセラ鉦区(アバディLNG)**	インドネシア	PS	51.9%	開発準備作業中
・サウル石油	バユ・ウンダン	チモール海共同開発地域	PS	100%	生産中
・INPEX Browse E&P Pty Ltd	WA-285-P**ほか	オーストラリア	コンセッション	100%	探鉦作業中
・INPEX Ichthys Pty Ltd	WA-50-L及びWA-51-L(イクシス)**	オーストラリア	コンセッション	100%	開発中
・Ichthys LNG Pty Ltd	イクシスプロジェクト下流事業**	オーストラリア	-	62.245%	開発中
・INPEX Oil & Gas Australia Pty Ltd	プレリユードFLNGプロジェクト	オーストラリア	コンセッション	100%	開発中
・アルファ石油	ヴァンゴッホ油田/ヨニストンユニット	オーストラリア	コンセッション	100%	生産中
・アルファ石油	ラベンスワース油田	オーストラリア	コンセッション	100%	生産中

注: * 2017年10月末時点
** オペレータープロジェクト

43

主要会社一覧及び石油契約②*



会社名	鉱区名又はプロジェクト名	国名	石油契約	出資比率	ステージ
ユーラシア					
・インペックス南西カスピ海石油	ACG油田	アゼルバイジャン	PS	51%	生産中
・インペックス北カスピ海石油	カシャガン油田	カザフスタン	PS	45%	生産中
中東					
・ジャパン石油開発	ADMA鉱区(アッパーザクム油田等)	アラブ首長国連邦	コンセッション	100%	生産中
・JODCO Onshore Limited	ADCO鉱区	アラブ首長国連邦	コンセッション	51%	生産中
アフリカ					
・帝石コンゴ石油	コンゴ民主共和国沖合鉱区	コンゴ民主共和国	コンセッション	100%	生産中
・INPEX Angola Block14	アンゴラ共和国沖合ブロック14鉱区	アンゴラ共和国	PS	100%	生産中
米州					
・INPEX Gas British Columbia	カナダ シェールガスプロジェクト	カナダ	コンセッション	45.09%	生産中/評価中
・Teikoku Oil & Gas Venezuela	コパ・マコヤ**/グアロオリエンタル	ベネズエラ	ジョイントベンチャー	100%	生産中
・Teikoku Oil (North America)	ルシウス油田/SS72鉱区	米国	コンセッション	100%	生産中
・Frade Jap ã o Petr3leo Limitada	フラージ鉱区	ブラジル	コンセッション	37.5%***	生産中

注: * 2017年10月末時点

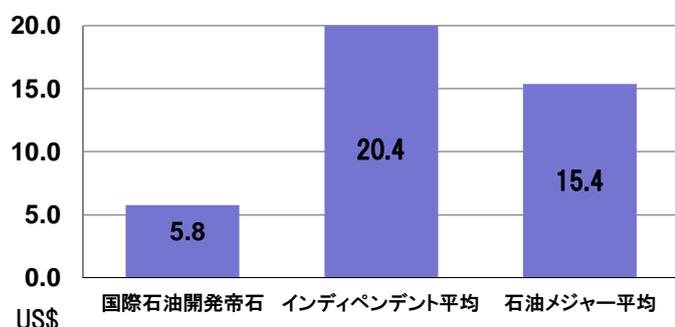
** オペレータープロジェクト

*** インペックス北カンボス沖石油(当社の持分法適用関連会社)の子会社。出資比率(37.5%)は同社を通じた当社の実質的な比率。

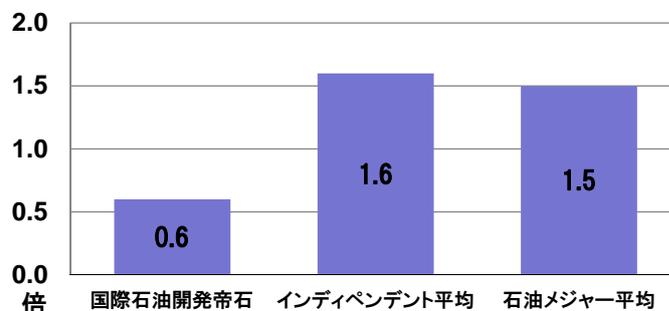


その他

EV／確認埋蔵量*



PBR**



*EV(企業総価値)／確認埋蔵量 = (時価総額 + 総有利子負債 - 預金及び現金同等物 + 非支配株主持分)／確認埋蔵量。時価総額は2017年9月30日時点、財務数値は、当社は2017年9月末時点、インディペンデント、石油メジャーは2017年6月末時点数値を使用。また、確認埋蔵量は、当社は2017年3月末時点、インディペンデント、石油メジャーは2016年12月末時点数値を使用。財務数値、確認埋蔵量は各社開示資料より。
 **PBR = 株価 / 一株当たり純資産。時価総額は2017年9月末時点、財務数値は当社は2017年9月末時点、インディペンデント、石油メジャーは2017年6月末時点数値を使用。財務数値は各社開示資料より。

中長期ビジョン*

3つの成長目標と重点的取り組み

1. 上流事業の持続的拡大
→2020年代前半にネット生産量日量100万バレル
2. ガスサプライチェーンの強化
→2020年代前半に国内ガス供給量25億m3
3. 再生可能エネルギーへの取り組み強化
→研究開発、事業化への取り組み

3つの基盤整備と目指す企業像

1. 人材の確保、育成と効率的な組織体制の整備
2. 成長のための投資と適切な株主還元
3. グローバル企業としての責任ある経営

* 2012年5月発表

低コストでの有利な資金調達

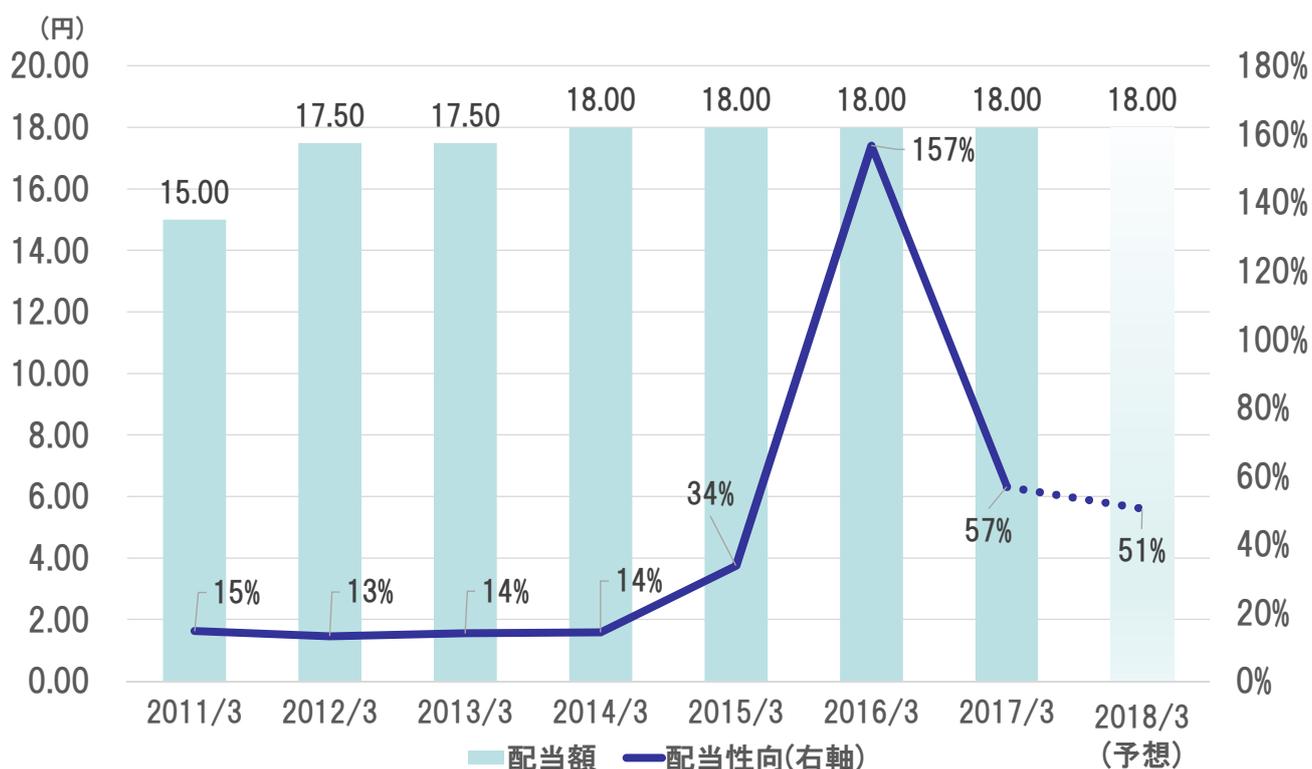
健全なバランス・シートを維持し、
資金調達の安定性と柔軟性を確保

JBIC及びJOGMECの制度金融の
活用により開発資金を調達

- イクシス、アバディ等に必要な投資を確実にするための資金調達力を維持
- 将来の新規プロジェクトへの継続的な投資を実現するために、健全なバランス・シートを維持
- 長期的財務レバレッジ水準(目標値)
 - 自己資本比率:50%以上
 - 使用総資本に対する純有利子負債の比率:20%以下

48

当社の一株当たり配当額、配当性向の推移



■イクシスLNGプロジェクト生産開始以降は、上流専門企業のトップクラスや、国内企業で株主還元に関するべき考えを持つ企業の水準なども参考とし、適切な株主還元を図る

49

✓ 6つのCSR重点テーマを中心に、事業を通じた取り組みを推進

<CSR重点テーマ>

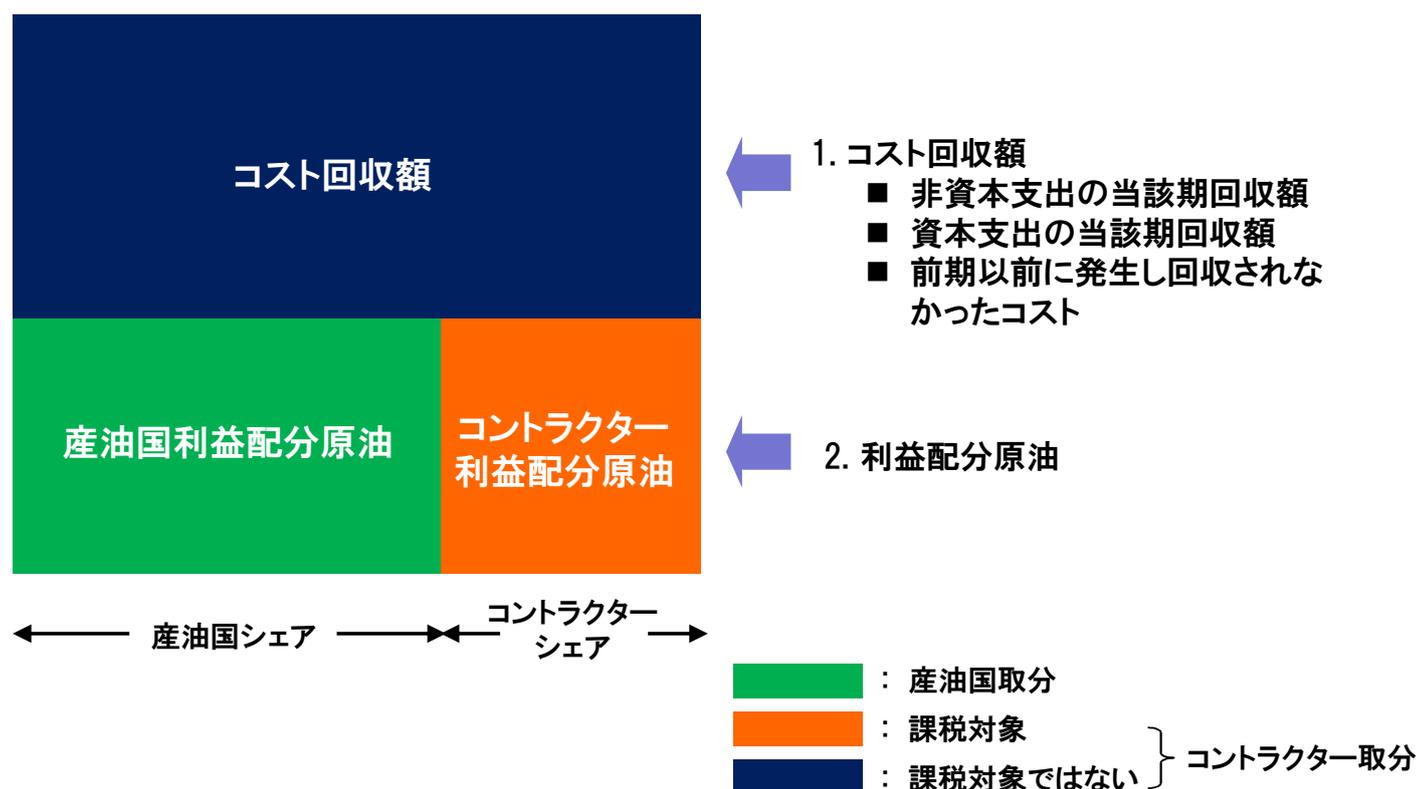


人権尊重に対する当社グループの姿勢を包括的に明示するため、国連のビジネスと人権に関する指導原則に則して、2017年5月に人権方針を策定。また、2016年度英国現代奴隷法ステートメントを2017年9月に開示

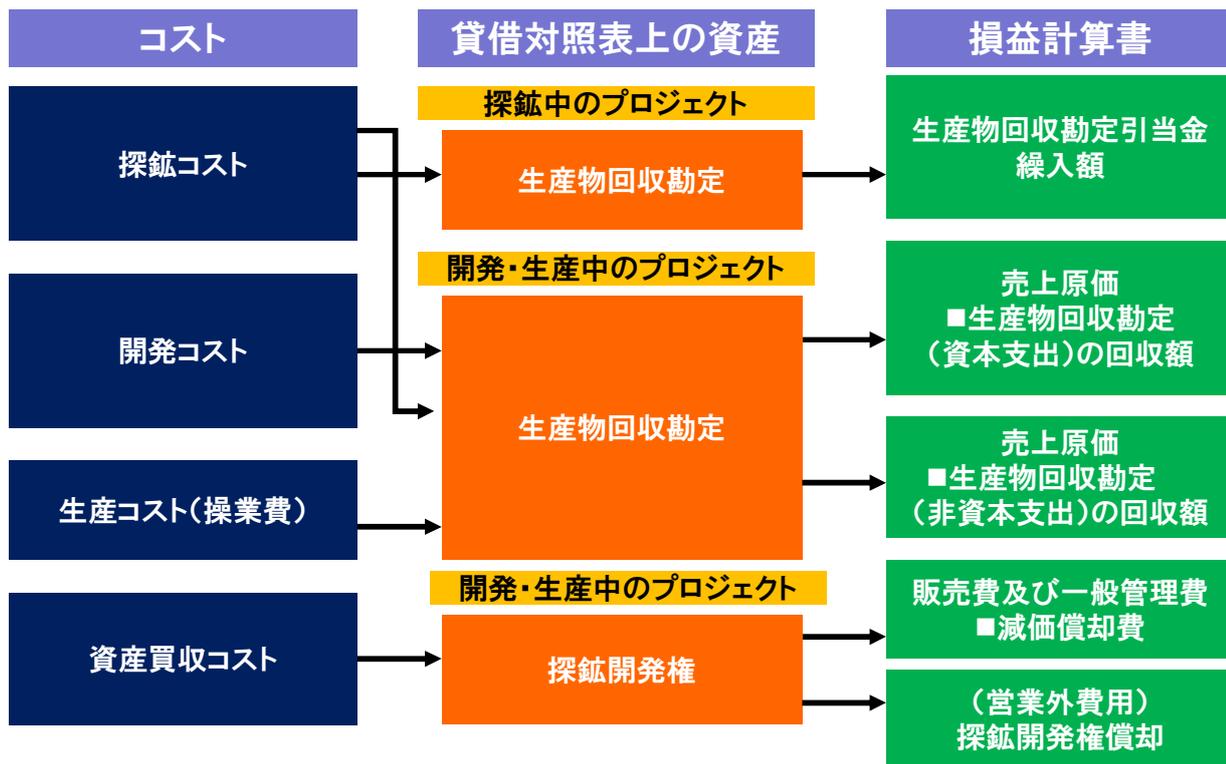
<外部機関からの評価及び主要SRIインデックスへの組入れ状況>

Dow Jones Sustainability Index	当社は米国のS&P Dow Jones社と、スイスのRobecoSAM社が選定する社会的責任投資の代表的指数の一つである「Dow Jones Sustainability World Index(DJSI World)」に採用されています。
FTSE	当社はFTSE Russell社が選定するFTSE4Goodインデックスシリーズのうち、Global IndexとJapan Indexおよび年金積立管理運用独立行政法人(GPIF)が運用対象とするESG指数であるFTSE Blossom Japan Indexに選定されています。
MSCI	当社は米国のMSCI (Morgan Stanley Capital Investment) 社が開発した、ESG面で優れた企業を選定する代表的な株価指数であるMSCI SRI Indexes, MSCI ESG Leaders Indexes, および年金積立管理運用独立行政法人(GPIF)が運用対象とするESG指数であるMSCIジャパンセレクト・リーダーズ指数に選定されています。

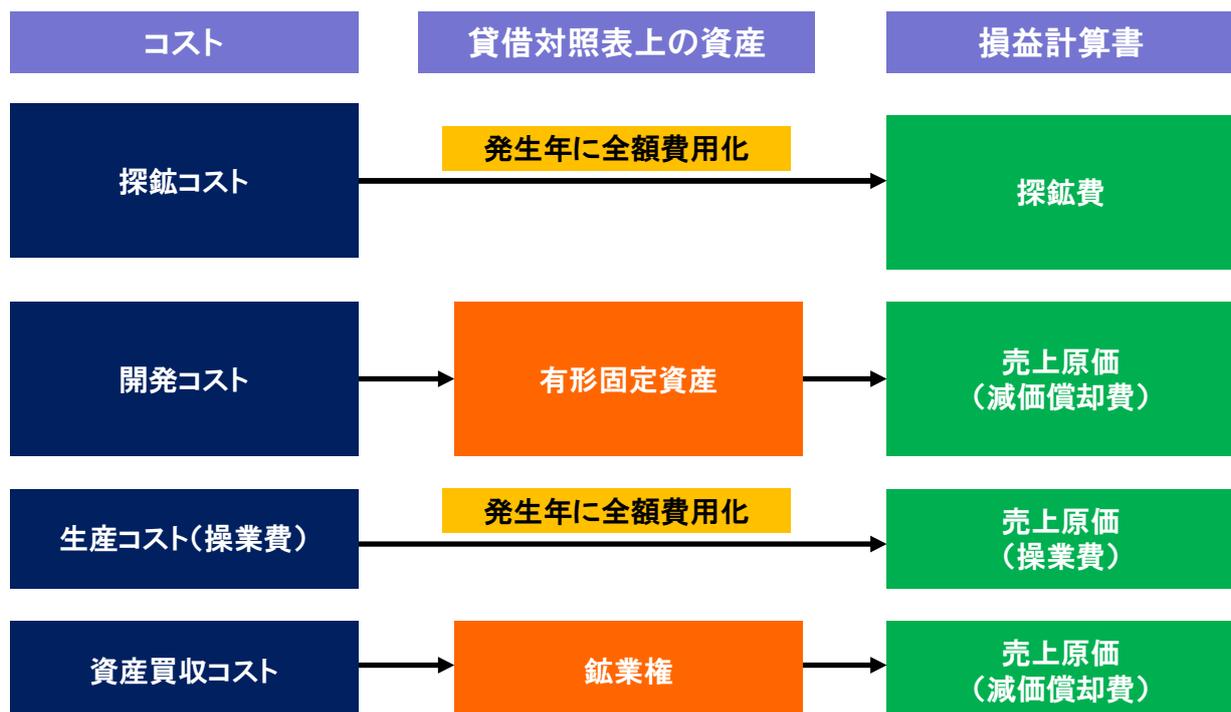
生産分与契約



生産分与契約に係る会計処理

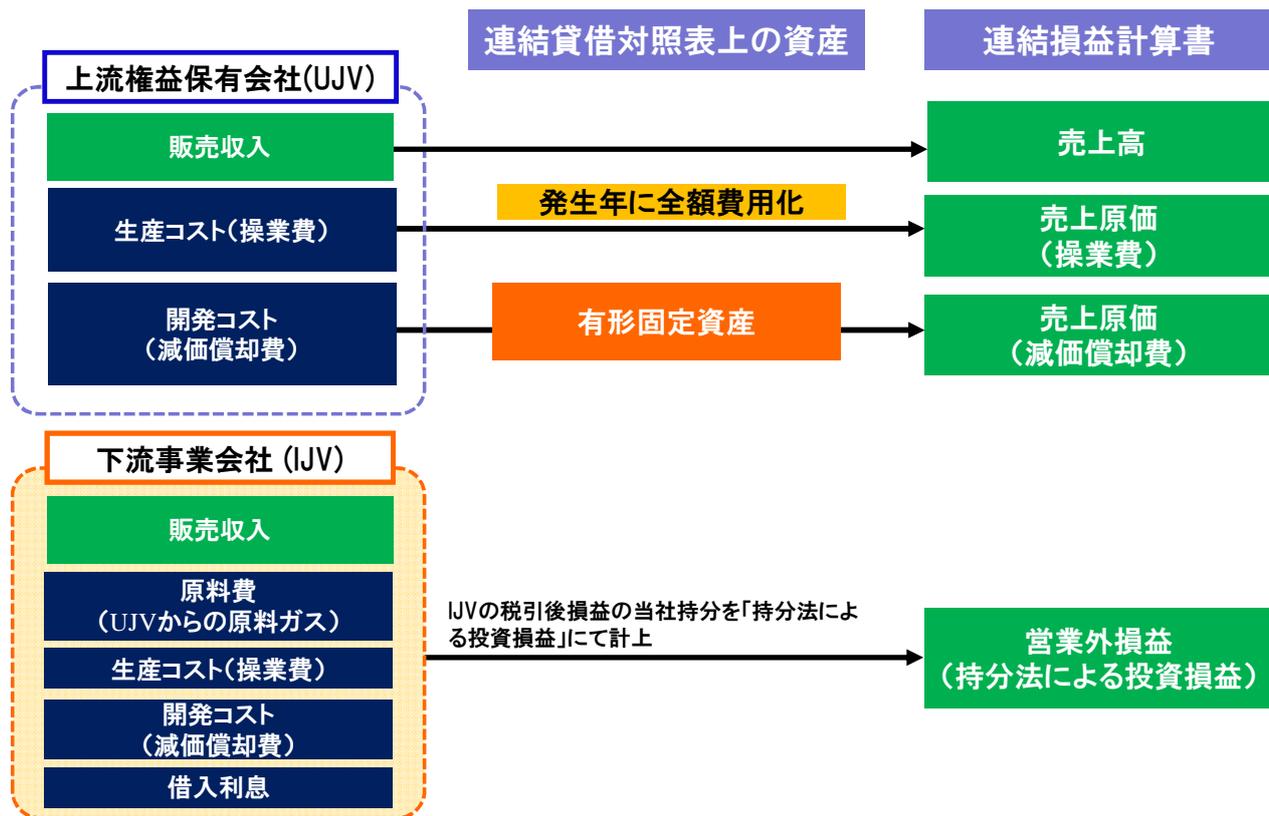


コンセッション契約に係る会計処理



イクシスLNGプロジェクトの会計処理(概略図) INPEX

※ イクシスLNGプロジェクトの生産時。コストは主なもの。

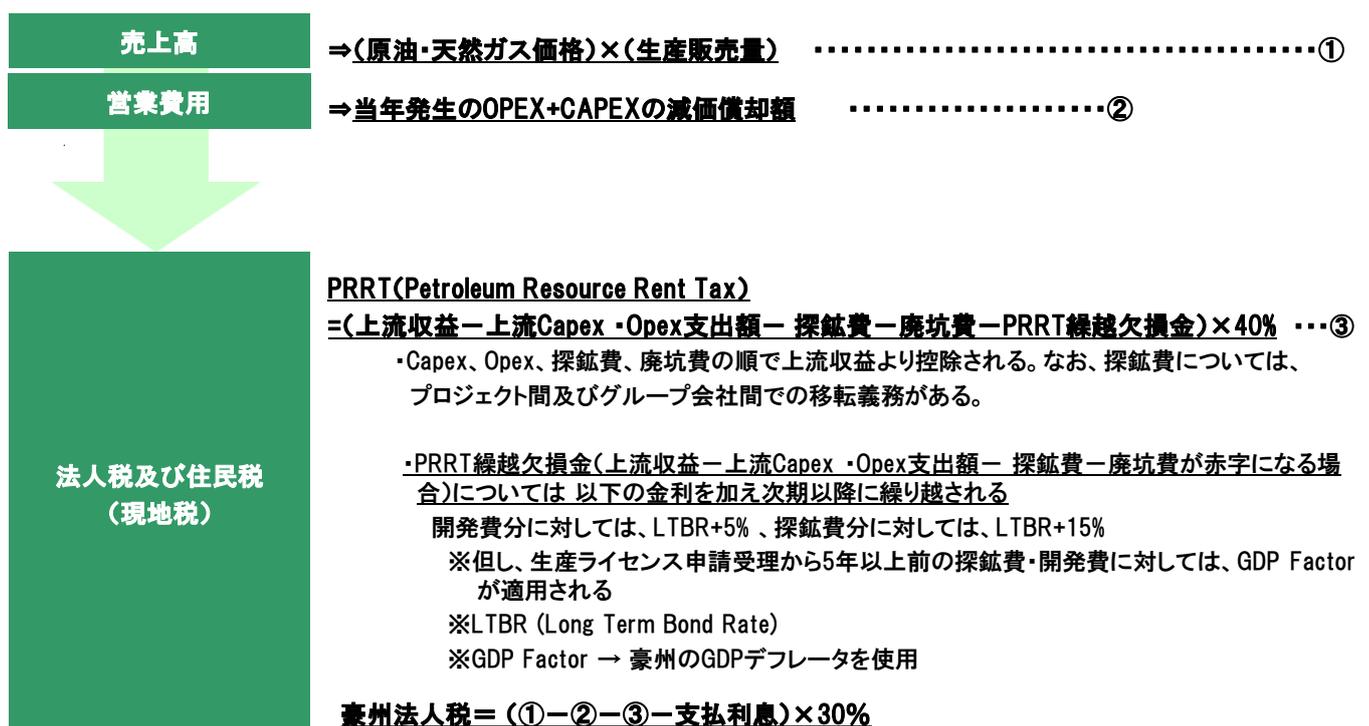


54

※下流会社(IJV)は持分法適用会社であり、同社のキャッシュフローは連結キャッシュフロー計算書上に表示されない。

豪州税制の概要 INPEX

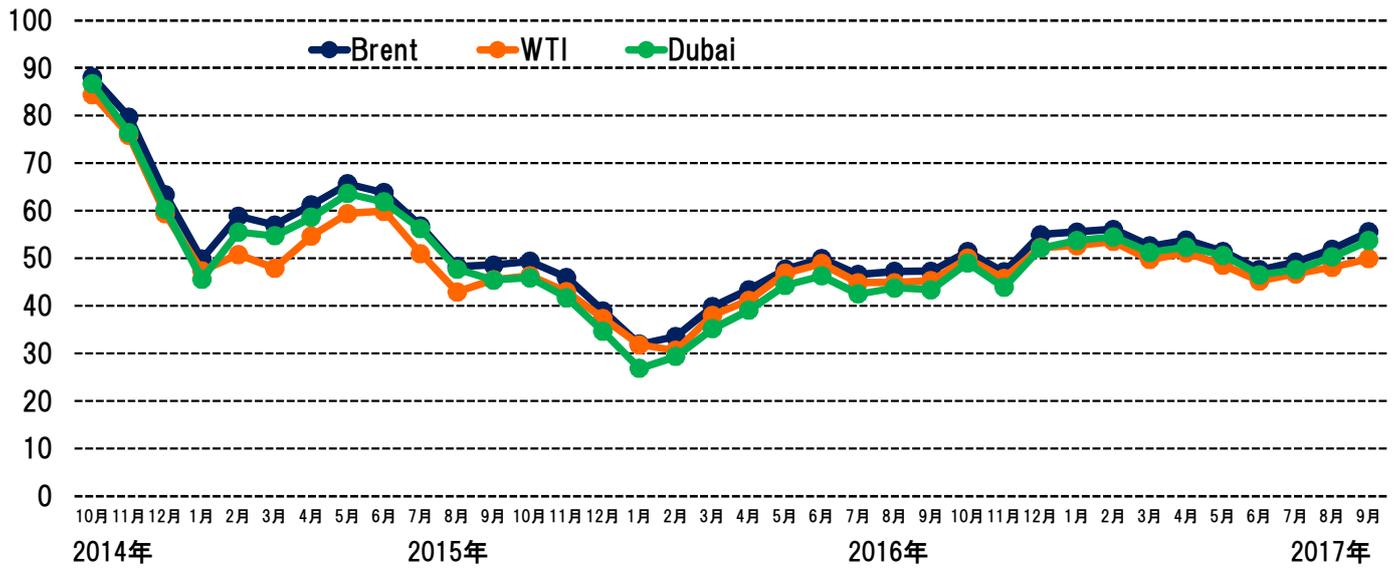
※ 本スライドの記載内容については、今後税制の改正等に伴い変更の可能性があります。



55

油価の推移

(US\$/bbl)



	2017年3月期 4-9月 平均	2017年3月期 通期	2017年							2018年3月期 4-9月 平均
			4月	5月	6月	7月	8月	9月		
Brent	47.01	49.88	53.82	51.39	47.55	49.15	51.87	55.51	51.49	
WTI	45.27	47.93	51.12	48.54	45.20	46.68	48.06	49.88	48.25	
Dubai	43.17	46.95	52.29	50.54	46.47	47.57	50.22	53.67	50.13	